

## 「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

### 2022 年総目次(210～221 号。全 12 号配信)

#### 210 号 : 2022.1.1 (34 頁)

1. 論文 : 岸田文雄内閣の医療・社会保障政策をどう見通すか? (「深層を読む・深層を解く(117)『日本医事新報』2021 年 12 月 4 日号 : 54-55 頁) ……2 頁
2. 論文 : コロナ危機後の医療提供体制—予測と選択(「二木教授の医療時評(198)」『文化連情報』2021 年 12 月号 (525 号) : 29-36 頁、2022 年 1 月号 (526 号) : 24-30 頁) ……5 頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算 190 回 : 2021 年分その 10 : 8 論文) ……20 頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 204) —最近知った名言・警句……26 頁
5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第 8 回) ……29 頁

#### 211 号 : 2022.2.1 (26 頁)

1. 論文 : 「維持期リハビリ」から「生活期リハビリ」への用語変更の経緯を探る (「二木教授の医療時評(199)」『文化連情報』2022 年 2 月号 (527 号) : 30-39 頁) ……2 頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算 191 回 : 2021 年分その 11 : 10 論文) ……11 頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 205) —最近知った名言・警句……18 頁
4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第 9 回) ……20 頁

#### 212 号 : 2022.3.1 (31 頁)

1. 論文 : 新自由主義と新自由主義的医療改革についての私の理解 (「二木教授の医療時評(200)」『文化連情報』2022 年 3 月号 (528 号) : 10-15 頁) ……2 頁
2. 講演録 : 地域包括ケアの過去と現在—コロナ収束後の「再起動」のために (『日本リハビリテーション病院・施設協会誌』2022 年 [冬] (第 182 号) : 11-14 頁) ……8 頁
3. 新著『2020 年代初頭の医療・社会保障 コロナ禍・全世代型社会保障改革・高額薬剤』(勁草書房,2022 年 3 月) の「はしがき」と章立て……14 頁
4. 書評……17 頁
- A 田倉智之『医療の価値と価格』医学書院,2021 年
- B 伊関友伸『新型コロナから再生する自治体病院』ぎょうせい,2021 年
5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算 192 回 : 2021 年分その 12 : 9 論文) ……19 頁
6. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 206) —最近知った名言・警句……25 頁
7. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第 10 回) ……28 頁

#### 213 号 : 2022.4.1 (18 頁+別ファイル 2)

1. 新著『2020 年代初頭の医療・社会保障』出版記念インタビュー : コロナ後の医療提供

体制構築へ、存在意義増す厚生連・公的病院（『文化連情報』2022年4月号（529号）：6-12頁）（別ファイル：2204文化連情報「二木教授出版記念インタビュー」.pdf）

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算193回：2022年分その1：1特集と9論文）……………2頁

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その207）—最近知った名言・警句……………8頁

4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第11回）……………10頁

番外1：日本医療経営学会第14回夏季医療経営セミナー（6月11日）…18頁

番外2：大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書（2022年度版,ver.24）（別ファイル:22院本推薦二木.pdf）

#### 214号：2022.5.1（27頁）

1. 論文：私が医療政策の分析と将来予測を「複眼」で行うようになった経緯を振り返る（「二木教授の医療時評(201)」『文化連情報』2022年5月（531号）：22-27頁……………2頁

2. 寄稿文：COMLの「正規分布曲線の中央値をプラスの方向にずらすことのできる活動」に期待しています（『コムル30周年記念誌』2022年3月,86頁）…8頁

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算194回：2022年分その2：9論文+補足）……………9頁

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その208）—最近知った名言・警句……………16頁

5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第12回）……………19頁

番外：日本医療経営学会第14回夏季医療経営セミナー（6月11日）（再掲）…27頁

#### 215号：2022.6.1（33頁）

1. 講演録：石川誠さんの業績—回復期リハビリテーション病棟を中心に（『回復期リハビリテーション』2022年4月号（21巻1号（通巻80号））：13-22頁）…2頁

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算195回：2022年分その3：9論文）……………14頁

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その209）—最近知った名言・警句……………20頁

4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第13回）…23頁

番外：日本医療経営学会第14回夏季医療経営セミナー（6月11日）（再掲）…33頁

#### 216号：2022.7.1（25頁）

1. 論文：医療経済・政策学の視点から2022年度診療報酬改定の問題点を考える（「二木教授の医療時評(202)」『文化連情報』2022年7月（532号）：18-24頁……………2頁

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算196回：2022年分その4：9論文）……………9頁

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その210）—最近知った名言・警句……………15頁

4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第14回）…18頁

#### 217号：2022.8.1（25頁）

1. 論文：岸田内閣の「骨太方針 2022」の社会保障・医療改革方針を複眼的に読む（二木教授の医療時評(202)）『文化連情報』2022年8月号（533号）：32-38頁…2頁
  2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算197回：2022年分その5：8論文）……………8頁
  3. 私の好きな名言・警句の紹介（その211）—最近知った名言・警句…………13頁
  4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第15回）…16頁
- 番外：日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科で後期に開講する「医療・福祉経済論」の<私的聴講>または<科目等履修生>のお知らせ……………25頁。**

**218号：2022.9.1（22頁）**

1. 論文：日経・日経センターの医療制度「改革提言」で特に問題なこと（「二木教授の医療時評(204)）『文化連情報』2022年9月号（534号）：34-38頁）…2頁
2. 寄稿：『民医連医療』600号に寄せて（『民医連医療』2022年9月号（600号）：10-11頁）……………7頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算198回：2022年分その6：9論文）……………10頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その212）—最近知った名言・警句…………17頁
5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第16回）…18頁

**219号：2022.10.1（25頁）**

1. 論文：プライマリケアの拡充で医療費は抑制できない、むしろ増加する—過去20年間の実証研究の結論（「二木教授の医療時評(205)）『文化連情報』2022年10月号（535号）：24-31頁）……………2頁
2. インタビュー：「ステルス」で続いた医療費抑制 全世代型社会保障の中身は変わった（「朝日新聞DIGITAL」2022年8月29日 聞き手：井上充昌）……………7頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算199回：2022年分その7：5論文）……………13頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その213）—最近知った名言・警句…………17頁
5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第17回）…19頁

**220号：2022.11.1（28頁）**

1. 論文：『令和4年版厚生労働白書』をどう読むか（「深層を読む・真相を解く(125)）『日本医事新報』2022年10月1日号（5136号）：54-55頁）……………2頁
2. 論文：地域共生社会の理念と現実、および地域包括ケアとの異同（「二木教授の医療時評(206)）『文化連情報』2022年11月号（536号）：18-26頁）…5頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算200回：2022年分その8：8論文）……………14頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その214）—最近知った名言・警句…………20頁
5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第18回）…………22頁

221号：2022.12.1 (25頁)

1. 論文：「かかりつけ医の制度化」が閣議決定されたとの言説は二重に間違っている（「二木教授の医療時評(207)」『文化連情報』2022年12月号(537号)：16-24頁）…2頁
  2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算201回：2022年分その9：7論文）……………11頁
  3. 私の好きな名言・警句の紹介（その215）－最近知った名言・警句……16頁
  4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第19回）…18頁
- 補. 「ニューズレター」2022年総目次（210～221号）。全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き（別ファイル：22二木NL目次.docx）

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2022(2010～221号)

## 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計 101 論文 (累計 1378 論文)

※特集全体の紹介は1論文に換算

210号(2022.1.1)(通算190回)(2021年分その10:8論文)

### ○肥満・過体重の成人の体重減少のためのナッジ戦略：体系的文献レビューとメタアナリシス

Li R, et al: The nudge strategies for weight loss in adults with obesity and overweight: A systematic review and meta-analysis. Health Policy 125(12):1527-1535,2021 [文献レビュー]

### ○健康、高齢化する労働力、及び【一国の】経済：健康【増進】は人口構造と経済成長の関係を緩和するか？

Cylus J, et al: Health, an ageing labour force, and the economy: Does health moderate the relationship between population age-structure and economic growth? Social Science & Medicine 287(2021) 114353, 7 pages. [量的研究]

### <長期ケア（保険）・認知症ケア（6論文）>

### ○ほとんど同じだが少し違う？日本と韓国の長期介護【保険】制度の制度的パフォーマンスを比較する

Kim H, et al: Same same but different? Comparing institutional performance in the long-term care systems of Japan and South Korea. Social Policy & Administration 2021;1-15. DOI: 10.1111/spol.12761 [日韓比較研究]

### ○台湾における新しい在宅ケア支払メカニズムが在宅ケア労働力の成長に与えた影響

Wu S-C, et al: Impact of a new home care payment mechanism on growth of the home care workforce in Taiwan. Gerontologist 61(4):505-516,2021 [量的研究]

### ○【韓国の】長期ケア・サービスが認知症を持つ高齢者の生涯医療費総額に与える影響

Moon S, et al: The impact of long-term care services on total lifetime medical expenditure among older adults with dementia. Social Science & Medicine 280(2021) 114072, 11 pages [量的研究 (シミュレーション)]

### ○イングランドの高齢人口における【公的】長期ケア費用【削減】と病院利用【との関係】

Grawford R, et al: Long-term care spending and hospital use among the older population in England? Journal of Health Economics 78(2021) 102499 (open access) [量的研究]

### ○公的長期ケア費用はイングランドのサービス利用者のケア関連QOLを改善するか？

Longo F, et al: Does public long-term care expenditures improve care-related quality of life of service users in England. Health Economics 30(10):2561-2581,2021 [量的研究]

### ○認知症を持つ人びととその介護者に対するケースマネジメント介入の効果：実験的研究の体系的文献レビューとメタアナリシス

Saragih ID, et al: Effects of case management intervention for people with dementia and their carers: A systematic review and meta-analysis of experimental studies: International Journal of Nursing Studies 121(2021) 104012, 11 pages.

211号(2022.2.1)(通算191回)(2021年分その11:10論文)

**○プライマリヘルスケアに対する経済的障壁は不健康のリスクを増すか？ニュージーランドで得られた縦断的エビデンス**

Jatrana S, et al: Do financial barriers to access to primary health care increase the risk of poor health? Longitudinal evidence from New Zealand. *Social Science & Medicine* 288(2021) 113255, 9 pages [量的研究]

**○フィンランドの2型糖尿病患者に対する自己負担増が薬剤使用と患者が報告するアウトカムに与える短期的影響**

Lavikainen P, et al: Short-term impact of co-payment level increase on the use of medication and patient-reported outcomes in Finnish patients with type 2 diabetes. *Health Policy* 124(12):1310-1316 [量的研究]

**○【アメリカ・ニューヨーク州における】迅速なテレヘルス【オンライン診療】への移行とデジタルデバイド：ポストコロナ時代のプライマリケアへのアクセスと平等性への含意**

Chang JIE, et al: Rapid transition to telehealth and the digital divide: Implications for primary care access and equity in a post-COVID era. *Milbank Quarterly* 99(2):340-368,2021 [量的研究]

**○情報技術による医療イノベーション：インセンティブの役割**

Zweifel P: Innovation in health care through information technology (IT): The role of incentives. *Social Science & Medicine* 289(2021) 114441, 6 pages [理論研究・概説]

**○【オランダにおける】経済評価に余命延長費用を含むことの分配面での影響**

Kellerborg K, et al: Distributional consequences of including survivor costs in economic evaluations. *Health Economics* 30(10):2606-2613,2021 [量的研究]

**○【ドイツとスペインでは】患者の【健康】選好は一般住民の選好とどの程度異なるか？**

Ludwig K, et al: To what extent do patient preferences differ from general population preferences? *Value in Health* 24(9):1343-1349,2021 [量的研究]

**○【アメリカにおける】費用効果分析でQALYを用いることについての論争：体系的文献レビュー**

Rand LZ, et al: Controversy over using quality-adjusted life-years in cost-effectiveness analyses: A systematic literature review. *Health Affairs* 40(9): 1402-1410,2021 [文献レビュー・評論]

**○死亡前1年間のケースミックス、費用と入院は過去10年でどう変わったか？イタリアで得られたエビデンス**

Berta P, et al: How have casemix, cost and hospital stay of inpatients in the last year of life changed over the past decade? Evidence from Italy. *Health Policy* 125(8):1031-1039,2021 [量的研究]

**○アメリカの過去50年間の医療利用・費用の趨勢 1977-2017**

Mortensen K, et al: Trends in health care utilization and expenditures in the United States across 5 decades 1977-2017. *Medical Care* 59(8):704-710,2021 [量的研究]

**○経済学の新しい合意 新しい調査は【アメリカの】経済学者間の合意が増えていることを示す**

*Economics* The new consensus A new study finds that economists are agreeing with each other

more. The Economist January 8th 2022: p.60 [経済誌記事]

原著論文 : Geide-Stevenson D, et al: Consensus among economists 2020 - A sharpening of the picture. Weber State University, December 2021 (ウェブ上に公開)

212号(2022.3.1)(通算192回)(2021年分その12:9論文)

○ [アメリカにおける] 住民の健康 [改善] のための病院の [地域を基盤とした組織との] パートナーシップ : 体系的文献レビュー

Hilts KE, et al: Hospital partnerships for population health: A systematic review of the literature. Journal of Healthcare Management 66(3):170-199, 2021 [文献レビュー]

○ [アメリカの] メディケア医療費の高さは患者が感じる医療連携の強さと関連している  
Kerrissey MJ, et al: Higher Medicare expenditures are associated with better integrated care as perceived by patients. Medicare 59(7):565-572, 2021 [量的研究]

○ 個室利用は高齢患者の院内感染発生率を減らす可能性がある : 中央デンマーク地域 [の大学病院] での後方視的コホート研究

Gregersen M, et al: Use of single-bed rooms may decrease the incidence of hospital-acquired infections in geriatric patients: A retrospective cohort study in Central Denmark region. Journal of Health Services Research & Policy 26(4):282-288, 2021 [量的研究]

○ [台湾における] 医師チームに対するインセンティブ : [個々の医師への] パフォーマンスのフィードバックと医師への [報奨金] 支払いの影響

Liang LL, et al: Incentives for physician teams: Effectiveness of performance feedback and payment distribution. Health Policy 125(10):1377-1384, 2021 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 医師の病院への投資 : 循環器診療における専門化、選択及び質  
Swanson A: Physician investment in hospitals: Specialization, selection, and quality in cardiac care. Journal of Health Economics 80(2021)102519, 16 pages [量的研究]

○ [アメリカにおける] 医師所有診療所と病院所有診療所における医師報酬

Whaley CM, et al: Physician compensation in physician-owned and hospital-owned practices. Health Affairs 40(12):1865-1874, 2021 [量的研究]

○ 企業所有の医療 : アメリカの「制度」の隠された荒廃

Geyman J: Investor-owned health care: The hidden blight on America's "system." International Journal of Health Services 51(4):494-500, 2021 [評論]

○ オーストラリアのナーシングホームの所有形態、質と価格 : なぜ私的セクターの参入拡大はパフォーマンスを改善しないか?

Yong J, et al: Ownership, quality and prices of nursing homes in Australia: Why greater private sector participation did not improve performance. Health Policy 125(11):1475-1481, 2021 [量的研究]

○ 健康の営利的要因の行動と研究のための優先順位を定義する : 概念上の文献レビュー

Freudenberg N, et al: Defining priorities for action and research on the commercial determinants of health : A conceptual review. American Journal of Public Health 111(12):2202-2211, 2021 [文献レビュー (論説)]

213号(2022.4.1)(通算193回)(2022年分その1:1特集と9論文)

○Health Economics, Policy and Law 17 卷 1 号(2022)が欧米諸国のコロナ対策の特集  
○ソフトロー（非拘束的合意）と個人責任：COVID-19 に対するスウェーデンの政策のレビュー

Winblad U, et al: Soft law and individual responsibility: A review of the Swedish policy response to COVID-19. Health Economics, Policy and Law 17(1):48-61,2022 [政策研究]

○イノベーションを促進しつつ医療費を抑制する：連合王国の医療技術評価アプローチ  
Anderson M, et al: Promoting innovation while controlling cost: The UK's approach to health technology assessment. Health Policy 126(3):224-233,2022 [文献レビュー]

○ヨーロッパにおける在宅脳卒中リハビリテーションの費用対効果：モデリング研究  
Candio P, Violato M, et al: Cost-effectiveness of home-based rehabilitation across Europe: A modeling study. Health Policy 126(3):183-189,2022. [シミュレーション・国際比較研究]

○【イギリスの】すべての人びとに無料の組織された運動機会を提供することは公衆衛生的に機能するか？

Candio P, et al: Does providing everyone with free-of-charge organised exercise opportunities work in public health? Health Policy 126(2):129-142,2022 [量的研究]

○家族の医療保険給付獲得が【アメリカ・】アイオワ州の子どもの学業成績に与える影響：オバマケアのエビデンス

Wehby GL: The impact of household health insurance coverage gains on children's achievement in Iowa: Evidence from the ACA. Health Affairs 41(1):35-43,2022 [量的研究]

○医療保険と主観的ウェルビーイング：アメリカの2つの医療【保険】改革のエビデンス

Kim S, et al: Health insurance and subjective well-being: Evidence from two healthcare reforms in the United States. Health Economics 31(1):233-249,2022 [量的研究]

○【アメリカにおける】医師診療所のメディケイド扱いとナースプラクティショナー・フィジシャンアシスタントの雇用との関連：時系列分析

Barnes H, et al: Association between physician practice Medicaid acceptance and employing nurse practitioners and physician assistance. A longitudinal analysis. Health Care Management Review 47(1):21-27,2022 [量的研究]

○台湾における持続性喘息患者の自己負担改革【増加】と効果的医療利用【の抑制】

Juan T-L, et al: Copayment policy reforms and effective care utilization by patients with persistent asthma in Taiwan. Health Policy 126(2):143-150,2020 [量的研究]

○【アメリカでは】インフォーマルなケア提供者は入所施設とナーシングホームで相当の最前線の支援を行っている

Coe NB, et al: Informal caregiver provide considerable front-line support in residential care facilities and nursing homes. Health Affairs 41(1):105-111,2022 [量的研究]

214 号(2022.5.1)(通算 194 回)(2022 年分その 2:9 論文+補足)

○医療制度の価値を三重の目標の分析枠組みを用いて改善する：体系的文献レビュー

Kokko P: Improving the value of healthcare systems using the triple aim framework: A systematic literature review. Health Policy 126(4):302-309,2022 [文献レビュー]

【補足】「医療の三重の目標」説の文献レビューは 2016~18 年にも 3 つ発表されていた

**○三重の目標のどの尺度が住民の【健康】マネジメント事業を評価するのに用いられているか？国際比較分析**

Which triple aim related measures are being used to evaluate population management initiatives?  
An international comparative analysis. Health Policy 120(5):471-485,2016.

**○我々は三重の目標について語る時に何を意味しているのか？医療制度レベルでの分析枠組みの発展しつつある定義と応用の体系的文献レビュー**

Mery M, et al: What do we mean when we talk about the Triple Aim? A systematic review of evolving definitions and adaptations of the framework at the health system level. Health Policy 121(6):629-636,2017.

**○プライマリヘルスケアの文脈における三重の目標の分析枠組みの応用**

M. Obucina N, et al: The application of triple aim framework in the context of primary healthcare: A systematic literature review. Health Policy 122(8):900-907,2018.

**○医療改善のための五重の目標－健康の平等を進める新しい要請**

Nundy S, et al: The quintuple aim for health care improvement A new imperative to advance health equity. JAMA 327(6):521-522,2022 [評論]

**<医療統合関連（4論文）>**

**○もしあなたがそう言うのなら：【オランダの】病院合併と医療の質についての混合研究**

Westra D, et al: If you say so: A mixed-method study of hospital mergers and quality of care. Health Care Management Review 47(1):37-47,2022 [混合研究法]

**○【アメリカの病院による医師診療所の】垂直統合後の治療統合：外来手術センター市場から得られたエビデンス**

Richards MR, et al: Treatment consolidation after vertical integration: Evidence from outpatient procedure markets. Journal of Health Economics 81(2022) 102569, 20 pages [量的研究]

**○前立腺がんを治療する【アメリカの】泌尿器科医の水平統合を記録する**

Mitchell JM, et al: Documenting horizontal integration among urologists who treat prostate cancer. Medical Care Research and Review 79(1):141-150,2022 [量的研究]

**○過去 20 年間の【15 の】医療サービス研究、医療政策、医療経済学雑誌の研究【トピックス】のマッピング**

Zengul FD, et al: Mapping 2 decades of research in health services research, health policy, and health economics journals. Medical Care 60(3):264-272,2022 [文献研究]

**○健康選択行動における効用最大化 vs 後悔最小化：4 つのデータセットから得られたエビデンス**

Buckell J, et al: Utility maximization versus regret minimization in health choice behavior: Evidence from four datasets. Health Economics 31(2):363-381,2022 [理論研究・量的研究]

【補足】マイケル・ルイス『後悔の経済学』が「後悔の理論」誕生のプロセスを活写

**○健康と疾病の営利的要因を測定する：分析枠組みの提案**

Lee K, et al: Measuring the commercial determinants of health and disease: A proposed framework. International Journal of Health Services 52(1): 115-128,2022 [理論研究]

215号(2022.6.1)(通算195回)(2022年分その3:8論文)

**○日本における 2016～2043 年のフレイルと認知症の有病率と医療・ケアの経済的コストを推計する：マイクロシミュレーション・モデリング研究**

Kasajima M (笠島めぐみ), et al: Projecting prevalence of frailty and dementia and the economic cost of care in Japan from 2016 to 2043: a microsimulation modelling study. *Lancet Public Health* 7(5):E458-468, May 1,2022 (オープンアクセス) [量的研究・シミュレーション研究]

**○【アメリカの】在宅ケアの質、費用、及び「在宅ケア質に基づく支払い【事業】」への含意**

Mukamel DB, et al: Home healthcare quality, its cost and implications for health value-based purchasing. *Medical Care Research and Review* 79(1):90-101,2022 [量的研究]

**○【アメリカでの】消費者選択と在宅ケア事業所の質・患者経験価値 [【星】格付けとの関連]**

Schwartz ML, et al: Consumer selection and home health agency quality and patient experience stars. *Health Services Research* 57(1):113-124,2022 [量的研究]

**○【アメリカでの】医師のバーンアウトとメディケア患者の医療の質・費用との関係は複雑である**

Casalino LP, et al: Relationship between physician burnout and the quality and cost of care for Medicare beneficiaries is complex. *Health Affairs* 41(4):549-556,2022 [量的研究]

**○【フランスの】補足的民間医療保険：医師への経済的インセンティブが医療行為に与える影響**

Micent C, et al: Supplementary private health insurance: The impact of physician financial incentives on medical practice. *Health Economics* 31(1):57-72,2022 [量的研究]

**○【アメリカの】「診療変容モデル事業」に参加した家庭医診療所では医療費・医療利用とも変化しなかった**

Dai M, et al: Family practices in Transforming Clinical Practice Initiative showed no changes in Medicare costs or utilization. *Medical Care* 60(1):50-55,2022 [量的研究]

**○【アメリカにおける】アカウントブルケア組織【ACO】加入者への救急ではない医療機関通院給付を評価する**

Berkowitz SA, et al: Evaluating a nonemergency medical transportation benefit for Accountable Care Organization. *Health Affairs* 41(3):406-413,2022 [量的研究]

**○【アメリカにおける】予防医療サービスの自己負担廃止が利用に与える影響：簡易文献レビュー**

Norris HC, et al: Utilization impact of cost-sharing elimination for preventive services: A rapid review. *Medical Care Research and Review* 79(2):175-197,2022 [文献レビュー]

**○QALY の 50 年：一つの物語とたくさんの声**

Spencer A, et al: The QALY at 50: One story many voice. *Social Science & Medicine* 296(2022)115653, 14 pages. [理論・歴史研究]

216 号(2022.7.1)(通算 196 回)(2022 年分その 4:9 論文)

<医療統合・ネットワーク (5 論文) >

○ [アメリカにおいて] ネットワーク理論を統合医療研究に統合する

Burns LR, et al: Integrating network theory into the study of integrated healthcare. *Social Science & Medicine* 296(2022) 114664, 11 pages [理論研究]

○ [アメリカ・] マサチューセッツ州における医師と病院との垂直統合と共同契約の価格効果

Curto V, et al: Price effects of vertical integration and joint contracting between physicians and hospitals in Massachusetts. *Health Affairs* 41(5):741-750,2022 [量的研究]

○ [アメリカでの] 病院・循環器専門医統合はしばしば診療所の買収なしに生じている

Post B, et al: Hospital-cardiologist integration often occurs without a practice acquisition. *Health Services Research* 57(2):333-339,2022 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 契約ネットワークの会員になることが病院の質と財務実績に与える影響

Jin B, et al: Effects of affiliation network membership on hospital quality and financial performance. *Health Services Research* 57(2):248-258,2022 [量的研究]

○ 専門職の統合医療のガバナンスへの寄与：デンマークでの事例研究に基づいた概念的分析枠組みに向けて

Burau V, et al: The contribution of professions to the governance of integrated care: Towards a conceptual framework based on case studies from Denmark. *Journal of Health Services Research & Policy* 27(2):106-113,2022 [質的研究]

<その他(4論文)>

○ 医療経済学と新型コロナ禍感染症によるロックダウンで出現したもの：非常に大きな限界分析

Donaldson C, et al: Health economics and emergence from COVID-19 lockdown: The great big marginal analysis. *Health Economics, Policy and Law* 17(2):227-231,2022 [評論]

○ 特集 シンデミックを時間、空間と方法から再検討する

Special Issue Rethinking syndemics through time, space, and method. *Social Science & Medicine* 295,2022.

○ 我々は経済不況が死亡の不平等に与える影響の何を知っているのか？批判的文献レビュー

Benach J, et al: What do we know about the impact of economic inequalities? A critical review. *Social Science & Medicine* 296(2022) 114733, 10 pages [文献レビュー]

○ 「企業の経済的影響力[指数]」と非感染性疾患の営利的要因と取り組むための政策実施との関連を評価する：17か国の横断面分析

Allen LN, et al: Assessing the association between *Corporate Financial Influence* and implementation of policies to tackle commercial determinants of non-communicable diseases: A cross-sectional analysis of 172 countries. *Social Science & Medicine* 297(2022) 114825, 8 pages [量的研究]

補足：“The pandemic determinants of health” というタイトルの小論文が JAMA 2022 年 5 月 17 日号に掲載されました (Shiroky-Kochavi: 327(19):1869)。

217 号(2022.8.1)(通算 197 回)(2022 年分その 5:8 論文)

<コロナ関連（4論文・特集）>

○特集：COVID-19 パンデミックから得られた【ヨーロッパ諸国等の医療制度の】教訓

Lessons learned from the COVID-19 pandemic. Health Policy 126(5),2022.

○COVID-19 中のプライマリケアの状況の変化：ヨーロッパからの報告

Kumpunen S, et al: Transformation in the landscape of primary health care during COVID-19: Themes from the European region. Health Policy 126(5):391-397,2022 [国際比較研究]

○SARS-CoV-2 ワクチン接種のためプライマリケア医にいかにか支払うか：EU・OECD 加盟 43 か国の分析

Milstein R, et al: How to pay primary care physicians for SARS-CoV-2 vaccinations: An analysis of 43 EU and OECD countries. Health Policy 126(6):485-492,2022 [国際比較研究]

○【アメリカにおける】メディケア加入者の COVID-19【パンデミック】の前後（2017-2020 年）における州をまたぐテレヘルス利用の特例的承認

Andino JJ, et al: Interstate telehealth use by Medicare beneficiaries before and after COVID-19 licensure waivers, 2017-20. Health Affairs 41(6):838-845,2022 [量的研究]

<その他（4論文）>

○年齢、疾病、及び何か他のもの？残余法により【デンマークの国民保健制度の】マイクロデータを用いて技術変化が医療に与える影響を測定する

Laudicella M, et al: Age, morbidity, or something else? A residual approach using microdata to measure the impact of technological progress on health care expenditure. Health Economics 31(6):1184-1201,2022 [量的研究]

○【アメリカでの】価値の低い医療を減らすための「賢い選択【運動】」の 10 年間

Rourke EJ: Ten years of choosing wisely to reduce low-value care. NEJM 384(14):1293-1295,2022 [評論]

○【アメリカの】医療貯蓄口座はもはや消費者のコスト意識を喚起しない

Glied SA, et al: Health savings accounts no longer promote consumer cost-consciousness. Health Affairs 41(6):814-820,2022 [量的研究]

○【アメリカの】低所得者用住宅税額控除の適用を受けている住宅に住んでいる子どもの医療アクセスと健康を検証する

Grensheimer SG, et al: Examining health care access and health of children living in homes subsidized by the low-income housing tax credit. Health Affairs 41(6):883-892,2022 [量的研究]

218号(2022.9.1)(通算198回)(2022年分その6:9論文)

○【アメリカにおける】2型糖尿病への非医療的【社会的要因への】介入：エビデンス、実行可能な戦略、及び政策機会

Egede LE, et al: Nonmedical interventions for type 2 diabetes: Evidence, actionable strategies, and policy opportunities. Health Affairs 41(7):963-970,2022 [文献レビュー]

○【アメリカにおける】2型糖尿病患者のケアマネジメント：看護師、薬剤師、及びソーシャルワーカーの役割

Bodenheimer TS, et al: Care management for patients with type 2 diabetes: The roles of nurses, pharmacists, and social workers. Health Affairs 41(7):947-954,2022 [総説]

○ [アメリカで健康・医療の] 平等に「到達する」－逆進的な価値に基づく支払いから進歩的な価値に基づく支払いへの進展

Gondi S, et al: "REACHing" for equity - Moving from regressive toward progressive value-based payment. NEJM 387(2):97-99,2022 [評論]

○ [アメリカの] メディケア病院再入院削減プログラムにおける [病院] 層別化の 3 年間の影響

Shashikumar SA, et al: Three-year impact of stratification in the Medicare hospital admissions reduction program. Health Affairs 41(3):375-382,2022 [量的研究]

○ 経済的インセンティブは慢性疾患を持つ [アメリカの] メディケア加入者の [医療] 利用に影響するか？

Buttorff C, et al: Do financial incentives affect utilization for chronically ill Medicare beneficiaries? Medical Care 60(4):302-310,2022 [量的研究]

○ 社会医療保険の給付拡大の影響：韓国からのエビデンス

Lee HM, et al: The impact of benefits coverage expansion of social health insurance: Evidence from Korea. Health Policy 126(9):837-932,2022 [政策研究・量的研究]

○ 親孝行の逆説： [シンガポールでは] 子どもから援助を受けることは [親の] QOL とマイナスの関連があるかも知れない

Ang S, et al: The filial piety paradox: Receiving social support from children can be negatively associated with quality of life. Social Science & Medicine 303(2022) 114996, 5 pages.

○ [英文の 6 つの] 医療マネジメント雑誌のトピックスとテーマのテキストマイニング研究：1998-2018

Zengul FD, et al: A text mining study of topics and trends in health care management journals: 1998-2018. Health Care Management Review 47(2):144-154,2022 [テキストマイニング]

○ COVID-19 に関連した医療組織の行動と方針がアメリカの内科医の知覚された組織的支援に与えた影響：全国調査

Sonis J, et al: Effects of healthcare organization actions and policies related to COVID-19 on perceived organizational support among U.S. internists: A national study. Journal of Healthcare Management 67(3):192-205,2022 [量的研究]

219号(2022.10.1)(通算198回)(2022年分その7:5論文)

○ 2000-2019年のアメリカの州別医療費増加率のばらつきは各州の [1人あたり] 所得、価格 [消費者物価] レベル、及びメディケイド拡大と関連していた

Johnson EK, et al: Varied health spending growth across US states was associated with income, price levels, and Medicaid expansion, 2000-19, Health Affairs 41(8):1088-1097,2022 [量的研究]

○ [医療費] 請求・保険関連管理費用： [6か国のミクロレベルデータの] 国際比較分析

Richman BD, et al: Billing and insurance-related administrative costs: A cross-national analysis. Health Affairs 41(8):1098-1106,2022 [量的研究]

○ 病院における治療費用のばらつきの要因：体系的文献レビュー

Jacobs K, et al: Variability drivers of treatment costs in hospitals: A systematic review. Health

Policy 126(2): 75-86,2022 [文献レビュー]

○より少ない費用でより多くのことをする－フルーガル（簡素な）・イノベーションはいかにして保健医療制度の改善に貢献できるか

Sarkar S, et al: Doing more with less - How frugal innovations can contribute to improving healthcare systems. *Social Science & Medicine* 306(2022) 115127, 12 pages [総説]

○【アメリカの】急性期病院における理学療法治療頻度と障害改善・自宅退院との関連

Johnson JK, et al: Association of physical therapy treatment frequency in the acute care hospital with improving functional status and discharge home. *Medical Care* 60(6):444-452,2022 [量的研究]

220号(2022.11.1)(通算199回)(2022年分その8:8論文)

<プライマリケア関連(5論文)>

○【アメリカ・ミシガン州の】民間保険の「包括的プライマリケア・プラス【モデル】は【医療の】質改善も、費用削減ももたらさなかった

Markovitz AA, et al: Comprehensive Primary Care Plus did not improve quality or lower spending for the privately insured. *Health Affairs* 41(9):1255-1262,2022 [量的研究]

○プライマリケアのスキル・ミックスとアウトカム：イングランドの一般診療所の2015-2019年の縦断的分析

Francetic I, et al: Skill-mix change and outcomes in primary care: Longitudinal analysis of general practices in England 2015-2019. *Social Science & Medicine* 308(2022) 115224, 9 pages [量的研究]

○【イギリスNHSにおける】1地域のプライマリケアへのインセンティブ事業：差の差法研究

Morasae EK, et al: Evaluating the effectiveness of a local primary care incentive scheme: A difference-in-difference study. *Medical Care Research and Review* 79(3):394-403,2022 [量的研究]

○【アメリカにおける】プライマリケア医の【診療】継続、【がん患者の】生存、及び終末期医療の密度

Hung P, et al: Primary care physician continuity, survival, and end-of-life care intensity. *Health Services Research* 57(4):853-862,2022 [量的研究]

○【オーストラリアにおける】政策転換期の【プライマリケア】一般医への継続的受診と糖尿病関連の入院

Youens D, et al: Regularity of contact with general practitioners and diabetes-related hospitalisation through a period of policy change: A retrospective cohort study. *Health Service Management Research* 35(3):134-145,2022 [量的研究]

<その他(3論文)>

○混合研究法の医療サービス・マネジメント研究への応用：体系的文献レビュー

Lee S-Y D, et al: Application of mixed methods in health services management Research: A systematic review. *Medical Care Research and Review* 79(3):331-344,2022 [文献レビュー]

**○州政府による有給休暇の義務化はアメリカの2011-2019年の救急外来受診の減少と関連していた**

Ma Y, et al: State mandatory paid sick leave associated with a decline in emergency department use in the US, 2011-19. Health Affairs 41(8):1169-1175,2022 [量的研究]

**○健康の営利的要因に取り組む上での公衆衛生の役割**

Lee K, et al: Public health roles in addressing commercial determinants of health. Annual Review of Public Health 2022, 43:375-395 [総説]

221号(2022.12.1)(通算200回)(2022年分その9:7論文)

**<英仏の医療統合・ネットワーク(4論文)>**

**○多専門職統合医療が医療利用に与える影響：イギリスにおける自然実験からのエビデンス**

Goldzahal L, et al: The effects of multi-disciplinary integrated care on healthcare utilization: Evidence from a natural experiment in the UK. Health Economics 31(10):2142-2169, 2022 [量的研究]

**○[多専門職参加のケアマネジメント型]統合医療介入がイングランドの恵まれない地域における死亡率と計画外入院に与える影響：差の差法研究**

Piroddi R, et al: The impact of an integrated care intervention on mortality and unplanned hospital admission in a disadvantaged community in England: A difference-in-difference study. Health Policy 126(6):549-557,2022 [量的研究]

**○統合医療は入院の減少を意味するか？フランスのフィールド実験の評価**

Gaillard A, et al: Does integrated care mean fewer hospitalizations? An evaluation of French field experiment. Health Policy 126(8):786-794, 2022 [量的研究]

**○医療・ソーシャルケア組織の垂直統合は機能するか？スコットランドからのエビデンス**

Alonso JM, et al: Does vertical integration of health and social care organizations work? Evidence from Scotland. Social Science & Medicine 307(2022)115188, 12 pages.

**<その他(3論文)>**

**○[アメリカにおける]コロナ・パンデミック中の稀少な資源の配分についての世論にある[障害への]偏見を確認・探究する**

Ne'eman A, et al: Identifying and exploring bias in public opinion on scarce resource allocation during the COVID-19 pandemic. Health Affairs 41(10):1513-1522,2022 [量的研究]

**○パンデミック効果と景気後退効果がアメリカの死亡に与えた影響—COVID-19第1年**

Ruhm CJ: Pandemic and recession effects on mortality in the US during the first year of COVID19. Health Affairs 41(11):1550-1558,2022 [量的研究]

**○公的長期ケア保険制度における長期ケアの利用と費用のバラツキの原因を説明する：韓国と日本の事例比較研究**

Kim H, et al: Explaining variations in long-term care use and expenditures under the public

long-term care insurance systems: A case study comparison of Korea and Japan. International Journal of Health Policy and Management 10(10):1-11, 2022 [量的研究・2国間比較研究]

## 「私の好きな名言・警句の紹介」2022年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフ、雑誌の無署名・ペンネーム記事はその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

### あ行

稲葉均(210),五木寛之(210,211,212),小倉紀蔵(210),入山章栄(210),「今を生きる」(210),大政絢(210),石破茂(211),岡本隆司(212),猪木武徳(212,212),Economist(213,216,216),石川誠(213,216),稲垣真美(214),大橋謙策(214),岩倉拓(214),荻島國夫(214,214),池内了(215),オールセン,オーセ(217=198),井上達彦(217),オーリック,T(217,217),安藤忠雄(218),落合恵子の亡くなった親友(218),磯野真穂(219),稲盛和夫(219),井口哲也(220),伊藤真(221)

### か行

加藤登紀子(210),草薙剛(210),「ガーラマンション」(211),ケインズ(212=10),『葉のチェック』(213),神出洋介(213),木俣正剛(214),加藤健一(214),孔子(214=105),川田美穂(214),郷ひろみ(214),稀勢の里(216),木村草太(217=204),近藤康太郎(217),ゴリラママ(仮名)(218),小柳学(219),KDDIの元幹部(219),小平奈緒(221,221)

### さ行

瀬戸内寂聴(210),佐高信(210=19,218),関満博(214=173),杉田敏(215),妹尾まなほ(215),篠田謙一(217),三遊亭円楽(220)

### た行

照ノ富士(210),田原総一郎(211),智鈴(212),寺田寅彦(215),トフラー,A(215),宝田明(215),田中滋(216),戸井田道三(216),武久洋三(216),出口治明(219),田中角栄(219),玉鷲(220),高橋海人(221),出久根達郎(221)

### な行

ニーバー,R(210=51),ニコル,CW(212),永田和宏(213,213),二木立(214,215,217,220,221),中村好一(214=173),西村京太郎(214),二所ノ関寛(216),野村拓(217,217),夏木いつき(218),野島剛(219),中曾根康弘(219),野中郁次郎(220)

### は行

林真理子(210),長谷川和夫(210),半藤一利(211),本田哲郎(211),朴光駿(212,217),伏見清秀(215),ピケティ,T(216),ペレス,F(216=141),古川貞二郎(219),橋本龍太郎(219),ファウチ,A(220),広瀬和生(220),藤井渉(221)

### ま行

藻谷浩介(211),宮本憲一(212,212,212,215),宮崎市定(212),「マクベス」(212=66),村明子(212),峰宗太郎(215),水月昭道(215=64),村山明彦(216),正岡子規(216),マーカソン,アーヴ  
ィン(217),マルセル,G(217)

### や行

吉川洋(210),湯沢規子(210),山本一生(213),ヤマザキマリ(217),横山 竟(220),安井理子  
(221)

### ら行

ラスチスカ,F(213),ロビンソン,M(213),レビット,N(215)

### わ行

若月俊一(214),ワトソン,J(215=52),渡辺律子(219=194)